

大学評価学会・第3回全国大会プログラム

大会テーマ

何のための評価か、誰のための評価か どうする日本の大学

日時；2006年3月18日（土）19日（日）

場所；桃山学院大学・聖ペテロ館5階（大阪府和泉市）

参加費：会員1500円、院生等会員1000円（非会員2000円）

懇親会費：4000円（院生等3000円）

<プログラム>

3月18日（土）

12:30～ 受付開始

13:00～ 年次総会（聖ペテロ館5階第4会議室）

議事内容（議長は運営委員1名、会員1名の計2名）

2005年度活動報告、決算報告、会計監査報告

2006年度活動方針（案）、予算案

第 期運営委員選出選挙

その他

14:30～ 主催校挨拶；桃山学院大学学長（予定）

14:40～ シンポジウム（聖ペテロ館5階第4会議室）

テーマ；「何のための評価か、誰のための評価か どうする日本の大学」

報告（1）；「国民（自治体住民）に直接に責任を負う教育のための『改革』」

茂木俊彦氏（前東京都立大学総長）

報告（2）；「何のための評価か 哲学の立場から」

碓井敏正氏（京都橘大学教授）

報告（3）；「ボローニヤ・プロセス（ヨーロッパ）にみる<基準>の視点から」

望月太郎氏（大阪大学助教授）

司会：橋本勝氏（岡山大学教授）

16:20～ コメント；川戸佳代氏（平安女学院大学学生）北村恭子氏（京都大学学生）

16:50～ 質疑応答（17:50終了）

18:00～ 懇親会（聖ペテロ館5階第6会議室）

3月19日（日）

9:30～ 受付開始

10:00～12:30 <午前分科会>

第1分科会；「評価機関の評価方法・システム」分科会（聖ペテロ館5階第4会議室）

座長；水谷勇氏（神戸学院大学）

・小山由美氏（日本大学）「米国薬学教育課程の評価認定における多様性の尊重と質の保証 日本における薬学教育第三者評価のための予備的考察」

- ・重本直利氏（龍谷大学）「『国際基準』からみた日本の評価機関における教員評価方法の特質 その乖離と克服のための課題を探る」

第2分科会；「学術・研究評価」分科会（聖ペテロ館5階第6会議室）

座長；由井浩氏（龍谷大学）

- ・蔵原清人氏（工学院大学）「学術政策の動向と大学改革の課題」
- ・小森田精子氏（元大阪大学）「研究評価 大阪大学の事例」

12:30～13:30 昼食休憩

13:30～16:00 <午後分科会>

第3分科会；「高等教育評価と教育環境の諸問題」分科会（聖ペテロ館5階第4会議室）

座長；篠原三郎氏（元日本福祉大学）・中村共一氏（岐阜経済大学）

- ・宮町優子氏（名城大学大学院）「自治としての大学評価 職員・学生の視点から」
- ・馬頭忠治氏（鹿児島国際大学）「私立大学評価の市民基準」

第4分科会；「大学経営・管理評価」分科会（聖ペテロ館5階第6会議室）

座長；守屋貴司氏（奈良産業大学）

- ・金丸裕氏（立命館大学）「立命館大学の管理運営」（仮題）
- ・ 氏（大阪府立大学）「公立大学における改革と管理・運営について」（仮題、依頼中）

16:10～ 総括討論会（聖ペテロ館5階第4会議室）

17:00 終了